



板倉区別所の県道崩落現場（14日）



吉川区川谷の県道路肩崩落現場（13日）



浦川原区有島を流れる保倉川（13日早朝）

大型台風19号は全国各地で大きな被害をもたらしました。上越市内でも重症1人、軽傷3人の人的被害のほか、公共施設で18件、矢代川右岸決壊、桑取川左岸決壊、道路の路面陥没など123件、林道の崩落など61件の被害が発生しました。家屋については、一部損

壊が9件、床上浸水4件、床下浸水87件となっています（いずれも14日15時現在）。
日本共産党議員団は、災害発生前から動き、被災現場の確認、被災地の皆さんの要望聞き取り、行政への伝達などで全力を上げていきます。何かあったらご連絡を。

上越市でも各地で重大被害



名立区東蒲生田の地滑り現場（13日）



清里区梨窪の地滑り現場（14日）



上の左は大島区莒蒲西の地滑り、右は莒蒲東の地滑り現場（いずれも14日撮影）



【タイリンヤマハッカ】
シソ科の多年草。漢字で「大輪山薄荷」と書きます。背丈は1メートルほどになります。8月～10月に青紫色の花を咲かせます。花言葉は「思いやり」。10日、吉川区上川谷で撮影。

今年度の吉川区敬老会が10日行われ、来賓として参加してきました。私は万歳三唱の音頭取りが役目ですが、その前に、お茶飲みで知った昔話の効能、家庭での小さな貢献について話をさせていただきました。

アトラクションでは、よしかお保育園の年長組さんが、「ちょっとだけ体操」を披露してくれました。ほかにフラダンス、舞踊、マジックショー、「ゆったりのお中村一座」の演劇もありました。

金婚式を迎えたHさんなど4組の夫婦にプレゼントが贈られました。



No.1930 2019.10.20

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp

URL <http://www.hose1.jp/>



ブログ
「ホーセの見
てある記」は
← こちら

橋爪法一

検索

はしづめ法一の 活動レポート



板倉区別所の県道崩落現場（14日）



吉川区川谷の県道路肩崩落現場（13日）



牧区切光の土砂崩れ現場（14日）

大型台風19号は全国各地で大きな被害をもたらしました。上越市内でも重症1人、軽傷3人の人的被害のほか、公共施設で18件、矢代川右岸決壊、桑取川左岸決壊、道路の路面陥没など123件、林道の崩落など61件の被害が発生しました。家屋については、一部損

壊が9件、床上浸水4件、床下浸水87件となっております（いずれも14日15時現在）。
日本共産党議員団は、災害発生前から動き、被災現場の確認、被災地の皆さんの要望聞き取り、行政への伝達などで全力を上げていきます。何かあったらご連絡を。

上越市でも各地で重大被害



名立区東蒲生田の地滑り現場（13日）



清里区梨窪の地滑り現場（14日）



上の左は大島区菖蒲西の地滑り、右は菖蒲東の地滑り現場（いずれも14日撮影）



「市民の声をどう集めるか」などで意見交換

市議会総務常任委員会と市内28区の地域協議会の代表との意見交換会が8日、市役所5階

にて開催されました。

4つのグループに分かれた中で、グループの話し合いの中では、「地域協議会委員のなり手がない」「地域をまとめていくのが難しい」などの悩みが出されました。その一方で、「地域に向いて協議会を開催し、認知度を少しでも高めるよう努力している」などといった経験も出され、積極的な活動を進めていく方向性も示されました。

議会に対しては、「どう市民の声を拾おうとしているかに着目して」「もっと地域協議会の傍聴を」などの声が出ていました。



【タイリンヤマハッカ】シソ科の多年草。漢字で「大輪山薄荷」と書きます。背丈は1mほどになります。8月～10月に青紫色の花を咲かせます。花言葉は「思いやり」。10日、吉川区上川谷で撮影。



はしづめ法一の活動レポート

No.1930 2019.10.20

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず

Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp

URL <http://www.hose1.jp/>



ブログ「ホーセの見
てある記」は
← こちら

橋爪法一

検索

春よ来い

第五七八回

みんなと一緒にだから

先日、突然の訪問にもかかわらず、歓迎していただき、楽しいひと時を過ごさせてもらいました。市内北部の、ある高齢者介護施設でのことです。

その日は台風一九号が近づいてきた日でした。私は吉川区敬老会で母と一緒に写真を撮った三人の女性を訪ね、現像した写真を届けるために動いていました。

山間部に住むYさんとHさんに写真を届けた後、私は残るもう一人の女性が入所している介護施設に行きました。

時間は午後三時少し前。ちょうど、午後のお茶の時間です。玄関に入ったところで、申し訳ないと思いつつ、「橋爪といいます。この写真をSさんに渡してくださいませんか」と職員さんにお願ひしました。

そうしたら、複数の職員さんが、「どうぞ、入ってってください」と勧めてくださいました。「ならば、ちょっとだけ」と、案内されるままに入らせてもらいました。

入ったところは談話室兼食堂といった感じの場所でした。三つの長いテーブルとイスがあり、そこに入所者の皆さんが座っておられました。私はSさんがいるテーブルに案内され、Sさんの隣にイスを用意してもらいました。

Sさんに、「この間の敬老会の時の写真できたすけ、持ってきただね」と言っていて、写真を見せると、「おひ写真写りの悪いけ……」と恥ずかしそうです。「なして、いい女だこてね、見てくんない」と促すと、改めて写真をのぞき込むようにして見てくださいました。

Sさんは大正一三年生まれ。母とは旧東頸城郡旭小学校時代、同級生でした。Sさんと話をしながら、同じテーブルの人たちをよく見ると、私の前には絵の上手なAさん、その隣には私と同郷で小柄なT子さん

がいました。そして、その斜め前には背の高いY子さんの姿が見えました。いずれの人も私の知っている人だったのです。「あらまあ、おまえさんだね」と皆さん、声をかけてくださいました。

話はずんで一〇分くらい経ったときだったでしょうか。部屋の入口付近の柱を見ると、朱色で「敬老祭り」と書かれた張り紙がしてあるじゃありませんか。この日は敬老祭りの日だったのです。

そうこうするうちに、職員の方々が、集まっていたみなさんに祭りを始めることを告げました。

最初はクイズ、Mさんが入所者の全員に問いかけました。「はい、質問です。みなさんの中で、昔、イノシシを見たことがある人いますか」。一人の男性が手を上げると、「わあ、すごい」という声があがりました。続いて第二問。「昔、マムシを粉にして飲んだことがありますか」。この問いには五、六人の人が手を上げました。私も手を上げました。もっとも私の場合は、マムシの骨を焼いて食べただけなんです。みんなが「おおっ」という顔をされていたので、私はふと思いついて、スマホ（携帯電話）の中にある赤マムシの画像を出し、Mさんに渡しました。Mさんがそれぞれのテーブルのところへ行って皆さんに見せると、驚きや恐怖の表情をされました。というところで、ずいぶん盛り上がりました。

私がこの施設を訪ね、入所者の皆さんと交流したのは今回が初めてでした。短時間でしたが、率直に言って、こんなに楽しく交流できるとは思っていませんでした。

そんな中でうれしかったのは、Sさんの最後の言葉です。おら、ひとりじゃ生きていかんねでも、みんなと一緒に生きて生きていけるがだ。いつも前向きなSさんらしい、心に残る言葉でした。

拠点とサテライト間などでの情報共有が大切

ニュースフラッシュ

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	10月9日(水)	10月16日(水)
上越南消防署	0.040	0.043
上越北消防署	0.047	0.047
新井消防署	0.047	0.043
頸北消防署	0.050	0.050
頸南消防署	0.057	0.067
東頸消防署	0.050	0.050
高士分遣所	0.050	0.047
名立分遣所	0.047	0.053

昨年度、市内の地域包括支援センターは11の地域に集約(再配置)されました。市議会厚生常任委員会と地域包括支援センターはこの問題を中心に15日、意見交換会を行いました。

地域包括支援センターの参加者からは、「広い地域を担当することになり、往復で1時間かかるところもある」(府中会Tさん)、「拠点地域包括とサテライトで月2回情報交換を行っている」(柿崎、Hさん)

「拠点とサテライト、わからないという声もあったので、わかりやすいチラシを作成した。1週間に1回は7人が寄って連携して取り組んでいる」(浦川原Iさん)などの声が出ました。この日は地域包括支援センターの再配置に異議を唱える声はありませんでした。共通して出た声は「情報共有の大切さ」でした。

このほか、交通難民、免許証の自主返納、ひきこもりなどについても意見交換されました。

